

台湾観光

日本語版

www.tva.org.tw

628 2023
MAR - APR

屏東

レトロ &
アートな旅時間

客家村の茶の旅

大稻埕

古い街の新しい横顔

おしゃれで美味しい!

ベジタリアンレストラン



行きたいわん

台湾に



台湾に行きたいわんは、
台湾をまるごと紹介している日本語のサイトです。
日本のみなさんに、観光スポット、グルメ、
体験、ショッピング、ホテルなど、
台湾から最新情報をお届けします！



INSTAGRAM

FACEBOOK

WEBSITE

本島最南端にあたる部分が恒春半島である。まさに常春の別天地だ。そのため台湾最初の国家公園がこの地に誕生し、かつて清朝は国防の拠点に恒春城を構えたりした。また台湾植物研究の扉を開いた田代安定はこの地を選んで熱帯植物園を創設した。辺境とは言い難い重要施設がこのしっぽに集まる。

文/柳本通彦

FEATURES

04 トラベル特集

屏東 レトロ&アートな旅時間

16 特別企画

客家村の茶の旅

22 街道散策

大稻埕

古い街の新しい横顔

30 グルメ特集

おしゃれで美味しい！

ベジタリアンレストラン

34 特別企画

台南東山「覓蜜團」

金色に輝く山々と蜜が流れる春



表紙デザイン/謝昀蕓



P.04



P.16



P.22

INFORMATION

02 NEWS

03 コラム—太台本屋 tai-tai books 第2回

36 コラム—その粽は南部粽、それとも北部粽？

38 コラム—FOUNTAIN新活水 第8回

40 数字でみる台湾観光情勢



P.30

会長・発行人/葉菊蘭
副会長/蘇成田、凌瓏、莊豐如
編集顧問/簡余晏、鍾逸寧、陳婷婷、張仲宇
発行所/財団法人台湾観光協会
住所/台北市忠孝東路4段285号8F-1
TEL: +886-2-2752-2898
FAX: +886-2-2752-7680
E-mail: yasir@tva.org.tw
http://www.tva.org.tw

台湾観光協会東京事務所
住所/日本国東京都港区西新橋1丁目5-8川手ビル3F
TEL: +81-3-3501-3591~2
FAX: +81-3-3501-3586
E-mail: tyo@go-taiwan.net

台湾観光協会大阪事務所
住所/日本国大阪府北区西天満4丁目14番3号6F
TEL: +81-6-6316-7491
FAX: +81-6-6316-7398
E-mail: osa@go-taiwan.net

制作/視野創興行銷股份有限公司
総経理/胡代葦
総編集/柳本通彦
編集統括/李建樹
取材編集/高田雅子、蘇有勻、黎冠好
特約作者/吉岡生信
翻訳者/杉本好美、森美恵子、松田良孝
デザイン/謝昀蕓、蔡緯儒
営業部/萬麗娟、呂麗君、劉家男
発行部/江秀明
財務部/蔡慧君

住所/台北市信義路4段265巷20弄5号
TEL: +886-2-2325-2323
FAX: +886-2-2701-5531
E-mail: editor@v-media.com.tw
http://www.v-media.com.tw
印刷/中茂分色製版印刷事業股份有限公司

中華民國交通部觀光局
E-mail: tbroc@tbroc.gov.tw
http://taiwan.net.tw

本誌「台湾観光」は財団法人台湾観光協会が出版し
版權を所有しています。転載の場合は事前に当協会
へお問い合わせください。

広告專線：+886-2-2325-2323

中華郵政台北雜字第1709號執照登記為雜誌交寄



FACEBOOK
「台湾に行きたいわん！」



INSTAGRAM
「台湾に行きたいわん！」



WEBSITE
「台湾に行きたいわん！」
taiwanikitai.com



issuu
issuu.com/taiwankankou



台湾最新ホテル情報検索サイト
「台湾旅宿網」
taiwanstay.net.tw

NEWS

— 台湾の窓 —

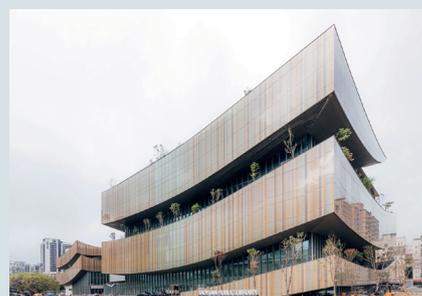
高雄にスヌーピーのラッピングフェリー登場



高雄市輪船股份有限公司 (運賃・時刻表) bit.ly/3GPcepA

2022年12月24日、高雄市にスヌーピーのラッピングフェリーが登場した。運行するのは高雄市のフェリー会社・高雄市輪船。フェリーは高雄港北側の鼓山漁港を起点に、古い倉庫をリノベーションした観光スポット棧式庫KW2を経由し、対岸の旗津島まで結ぶ。同社の黄淑美董事長（会長）は、「棧式庫、大港橋、高雄灯台、旗津老街などの観光地の流行が落ち着いて以来、日々観光客が増加してきている」と指摘し、「スヌーピーのフェリーで家族連れの観光客をひきつけたい」との考えを示した。フェリーには、窓に周辺スポットの映像やインフォメーションを映し出すガイドシステムを搭載しており、乗客は外の風景とガイドの情報を確認しながら船旅を楽しめる。運賃は片道大人80円で、運行期間は2024年8月20日まで。

桃園市立図書館 新総館 「台湾で最も美しい図書館」誕生



桃園市立図書館 lifetree.typl.gov.tw

2018年から行われていた桃園市立図書館の建て替え工事が完了し、2022年12月17日に「桃園市立図書館 新総館」としてプレオープンを迎えた。設計を担当したのは、日本の公共図書館の設計経験が豊富な株式会社梓設計と台湾の郭自強建築師事務所の共同チーム。「生命の樹」をコンセプトにした建物は最新技術を駆使したエコ建築で、庭園テラス「緑の螺旋」が地上から屋上まで外壁に巻き付くように続き、木目調のガラス素材を使用した「エコスキン」と呼ばれる外装がヒートアイランド効果を遮断し、室内は金属フレームと透明ガラス窓で構成された円錐形の「エコチューブ」が採光と通風機能をサポートしている。図書館の総面積は5万1600平方メートル、地下2階、地上8階建てで、蔵書は100万冊ちかくに達する。1階に入店しているスターバックスコーヒーと日本の蔦屋書店をはじめ、8階の空中庭園、図書館に隣接する映画館など、図書館利用者以外も楽しめる店舗や施設も充実しており、早くも桃園市の新しいランドマークとして注目を集めている。

本からはじまる台湾旅 近現代史

激動の歴史を生き抜いた蔡焜霖の人生。

台湾では、一八九五年から日本統治時代が五十年続き、終戦後は中国から渡ってきた国民党政権に変わりました。

また、一九八七年まで三十八年にもわたる戒厳令が敷かれたことを知っている人もいますでしょう。しかし、その当時、人々が実際にどのような暮らしぶりだったのかは、あまり知られていないと言えます。

今回紹介するグラフィックノベル『台湾の少年』（全4巻）は、日本統治時代の一九三〇年に生まれた主人公・蔡焜霖の人生をたどりながら、激動の台湾現代史を生きた人々の様子と心境を垣間見ることが出来ます。

第1巻は、学校で日本語教育を受けた蔡焜霖の幼少期

から終戦までの少年時代を描きます。第2巻で描くのは、

高校時代に読書会に参加したことで逮捕され、政治犯として緑島の収容所に送られて、無実の罪で服役し、人生の青壮年の十年間を過ごした日々と、周りの人々の様子。

第3巻は一九六〇年に釈放されることから始まり、日本漫画を翻訳したことがきっかけで編集者になり、児童雑誌『王子』を創刊します。しかし、収容所に入った経歴があるため、いろんな苦労をしました。それでも希望を捨てずに、懸命に生きる焜霖の姿に胸が熱くなります。第4巻で、台湾はようやく民主化へ向かって動き出しますが、同時に激しく揺れ動く時代でも

ありました。九十年代になった現在でも、蔡焜霖氏は白色テロの政治犯の名誉回復と人権教育に力を注いでいます。

本作は、児童文学研究家の游珮芸が、蔡焜霖氏の経験に深い衝撃を受け、蔡氏の人生の物語を通して、台湾の子供や若者たちが台湾の近現代史を知ることができる作品を作ろうと思ったのが、制作のきっかけです。作画は、多様な画風を駆使する絵本作家の周見信が、グラフィックノベルに初挑戦しました。

単行本各巻の巻末に、作品に描かれる事件や人物、場所等の解説と年表が収録されているので、よりいっそう、理解が深まります。

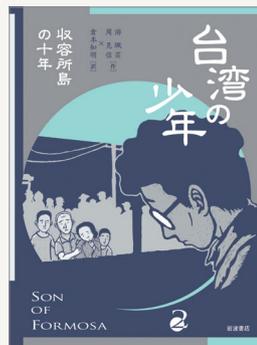
● (エリー店長・黄碧君)

～グラフィックノベルで知る台湾近現代史～

『台湾の少年1
統治時代生まれ』



『台湾の少年2
収容所島の十年』



『台湾の少年3
戒厳令下の編集者』



『台湾の少年4
民主化の時代へ』



游珮芸・周見信 作、倉本知明 訳/岩波書店/2022年7月～2023年1月刊行/各2640円

主人公が過ごした時代の雰囲気に合わせて、巻ごとに画風が変化していく斬新な表現方法を採用。効果的で、圧倒される。

太台本屋 tai-tai books とは

日本で唯一の「台湾の作家と作品専門の版權エージェント」兼「日本に台湾の本を広める活動をしているユニット」。メンバーが実際に読んで「良い」と思った台湾作品を日本の出版社に売り込み、その面白さを日本の読者に紹介するための情報発信を行う。本コラムでは、太台本屋 tai-tai books が版權を紹介した本「太台好書」を中心に紹介します。

屏東

レトロ & アートな旅時間





台湾鉄道屏東駅は屏東県内最大の駅。2015年に高架化された新駅舎は、ピターセスターなど屏東市の玄関口にふさわしい設備を備えている。駅西側の新バスターミナルは屏東市から屏東県内各地へ延びる交通網の起点だ。古き良き地方都市の雰囲気を残しつつ進化を続ける屏東の街には、歴史遺産を利用した新スポットやお洒落なショップも次々に誕生している。懐かしい空気が流れる屏東で、レトロ&アートな旅時間をごそー！



注目スポット

歴史建築や

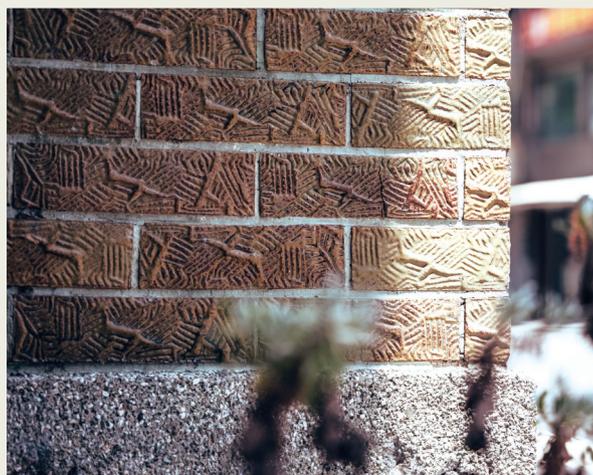
最新アートにであう



昭和レトロな優美な佇まいの大和ホテル

驛前大和咖啡館

屏東駅前ロータリーから続く大通りの角に面した薄茶色の優美な建物は、1939年（昭和14年）に完成した「大和ホテル」だ。L字型の3階建て鉄筋コンクリート建築で、日本時代に流行したモダニズム建築様式のシンプルな美しさを持つ。戦後は「大成旅社」と改名し1999年まで営業していた。貴重な歴史的遺産の建物を保存するため、現オーナーの許氏は2011年から「大和ホテル」の再生計画を開始。2014年には屏東県により建物が歴史建築に指定された。そして2020年5月にホテルの復活に先駆けて1階のカフェがオープンし、その美しい佇まいが各界の話題をさらっている。



建築当時の姿を復元した外壁タイル



カフェでは世界各地のスペシャルティコーヒーや、厳選した台湾産の豆をそろえている。瓶入りの水出しコーヒー「冰滴咖啡」はすっきりした飲み口でスイーツや食事のお供にぴったり。「鳳梨氣泡咖啡」は、コーヒーに屏東産のパイナップルジャムを加えて炭酸で割った、パイナップルの香りが爽やかな一杯。スイーツは新竹県にある系列のスイーツ店「欣悅甜法式點心」から焼き菓子を送っており、カステラのようなもちっとした食感のレモンケーキ「檸檬糖霜蛋糕」やガリリックバター風味のバターロールパン「鹽之花奶油捲（原味）」が人気。ホテル開業後はカフェが朝食会場となる予定だ。



Google Map



二二八事件の銃弾跡が残る1階の階段

台湾鉄道屏東駅から徒歩、レンタサイクル、タクシーで各スポットへ

※タクシーは駅前以外では探しづらいため、あらかじめ駅やホテルなどでタクシー会社の電話番号を聞いておこう

屏東市レンタサイクル pbike.ptng.gov.tw



手前から時計回りに鹽之花奶油捲(原味)、冰滴咖啡、鳳梨氣泡咖啡、檸檬糖霜蛋糕



オープンが待たれる2階から上の宿泊エリアでは、開業に向けて現代の消防基準に合わせた補強工事が進められている。館内インテリアはモダンなデザインを取り入れつつ、あえて新築に見えるような補修は施さず、壁、窓、天井、階段などは可能な限り元の姿のまま保存。建物全体に生きた美術館のような雰囲気満ちている、「大和ギャラリー」と呼びたくなる美しい佇まいに完成への期待が高まる。2023年内開業予定。

📍 屏東縣屏東市民族路 163 號 ☎ 08-766-9777 🕒 9:00-18:00 🌐 facebook.com/yamatocoffee

💰 ミニマムチャージ：1人1杯ドリンク/席利用：2時間まで 🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩2分



ほぼ完全な形で大量の機械が残る工場内

屏菸1936文化基地

台湾初の「たばこ」がテーマの博物館。建物の前身は1936年（昭和11年）に建てられた「台湾総督府屏東支局葉煙草再乾燥場」。戦後も紙巻きたばこや刻みたばこを生産していたが、専売制の廃止、喫煙人口の減少などの影響でたばこ産業が衰退し、2002年に工場は閉鎖された。その後、2010年に葉たばこ

再乾燥場、ボイラー室、中山堂などが屏東県の歴史建築に指定され、2017年には指定が工場全域に拡大された。貴重な近代産業遺産である工場や倉庫は元の姿をほぼ完全な形で残したまま整備され、2022年2月に博物館として一般公開された。工場本体と16号倉庫からなる「菸葉館」の1階では常設展「菸・葉・廠―複葉的金黃記憶（タバコ・葉・工場―よみがえる黄金の記憶）」を展示。実際の工場設備に最新技術を組み合わせた現代的な展示空間が印象的だ。2階の「屏東客家館」では屏東を中心とした客家文化を紹介。別館の倉庫はシーズンごとに異なる特別展を開催している。ミュージアムショップではオリジナルグッズや屏東土産も購入できる。



工場の山形の屋根は一番人気の撮影スポット



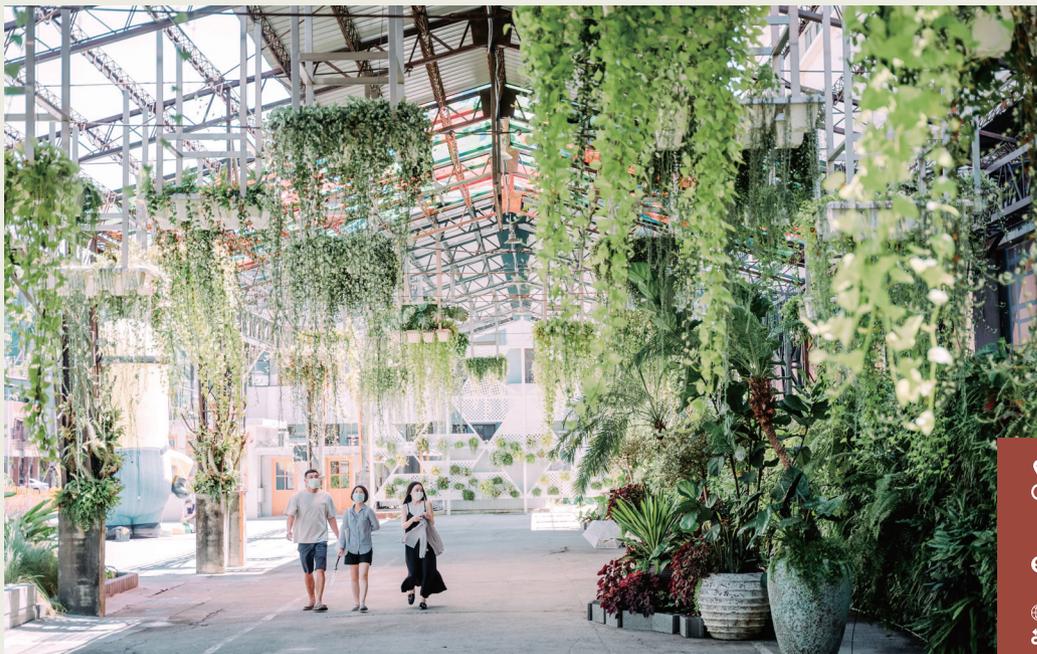
最新技術を駆使して客家文化を紹介する屏東客家館



豊富な資料と文物でたばこ産業の黄金期の様子が学べる



音楽とライティングでクラブのような空間に変身した機械内通路



- 📍 屏東縣屏東市菸廠路1號 ☎ 08-721-0234
- 🕒 屋外 9:00-22:00、月曜休館
展示館 9:00-18:00、金曜 - 日曜 9:00-21:00（最終入場時間 1時間前）、月曜休館
- 🎫 常設展（屏東菸葉館・屏東客家館を含む）NT\$199
没入体験型展覧館は別料金（展覧会により異なる）
- 🌐 www.cultural.ptng.gov.tw/pt1936
- 🚖 台湾鉄道屏東駅からタクシーで8分



敷地の大部分を見渡せる見晴台「地標塔」



日本時代の製糖工場事務所地下室で戦時には避難所も兼ねていた「地坑」

かつての製糖工場とパルプ工場の跡地を利用した公園で、敷地面積は20haにおよぶ。「台湾製糖株式会社阿緞製糖所」が操業を開始したのは1909年（明治42年）。「阿緞」は屏東市の旧名で、製糖工場の建設により、周辺に鉄道、空港、水道などのインフラの整備が整ったことで街が発展した。戦後、製糖工場は国民政府に接収され、1977年には大量のサトウキビの搾りかすを使用するパルプ工場が操業を開始。その後、製糖業の衰退に伴い1990年代に工場が相次いで閉鎖されると工場と倉庫群は廃墟化した。2015年の調査で数十年ぶりに歴史的価値が再評価され、敷地内を流れる殺蛇溪と湿地と併せて「屏東県民公園」として整備された。2021年2月に一般公開されると、無機質なコンクリートと鉄の遺構を活かしたアートな空間が台湾内外の注目を集め、日本のグッドデザイン賞をはじめとした世界の名だたる建築・デザイン分野の賞を次々と受賞。歴史遺産と自然生態が融合した新しい屏東のランドマークとなっている。

屏東県民公園 (HEITO 1909)



ライトアップされる夜間も美しい



2つの円を合わせたデザインの遊び場「雙圓遊憩」

📍 屏東縣屏東市復興路（復興路出入口）
 🕒 24時間 📄 入園無料
 🚖 台湾鉄道屏東駅からタクシーで5分



「地坑」は公園内で一番の人気撮影スポット



屏東原百貨

屏東に台湾で最初の空港「屏東飛行場」が建設されたのは1920年（大正9年）。その後、飛行場付近には日本の陸海軍の軍人のために大量の宿舍が建設された。第二次

世界大戦終結後、宿舍群は「勝利新村」と改称され、中国大陸から渡ってきた将校や兵士の住まいとなった。現在はアトスポット「勝利星村創意生活園區」として整備され、宿舍の大部分がカフェや書店、資料館などに生まれ変わっている。「屏東原百貨」は、この「勝利新村」の一角に2021年5月にオープンした新スポット。テーマが異なる6軒のショップで構成されており、グルメ、インテリア、服飾、音楽、アートなどバラエティに富んだ台湾原住民族文化に触れられる。一軒ずつ見て回れば、屏東の土地の温もりにも溢れた土産物にも出逢えるだろう。



敷地内の各所に置かれているアート作品も個性的



📍 屏東縣屏東市康定街2號~12號（勝利星村創意生活園區内）
 🕒 11:00-21:00 ころ、火曜・水曜休園（詳細は各店公式サイトを参照）
 🌐 pingtungharvest.mystrikingly.com 📍 台湾鉄道屏東駅から徒歩12分
 ※ 6軒のうち2軒は新店舗準備中

原音

世界の楽器、中古レコード・CD、屏東アーティストの音楽作品を販売。庭に録音スタジオがあり、コーディングやイベントも行っている。

📍 屏東縣屏東市康定街4號 🌐 facebook.com/tolan.space
 🕒 13:00-19:00、火曜・水曜定休



店内ではライブも行っている



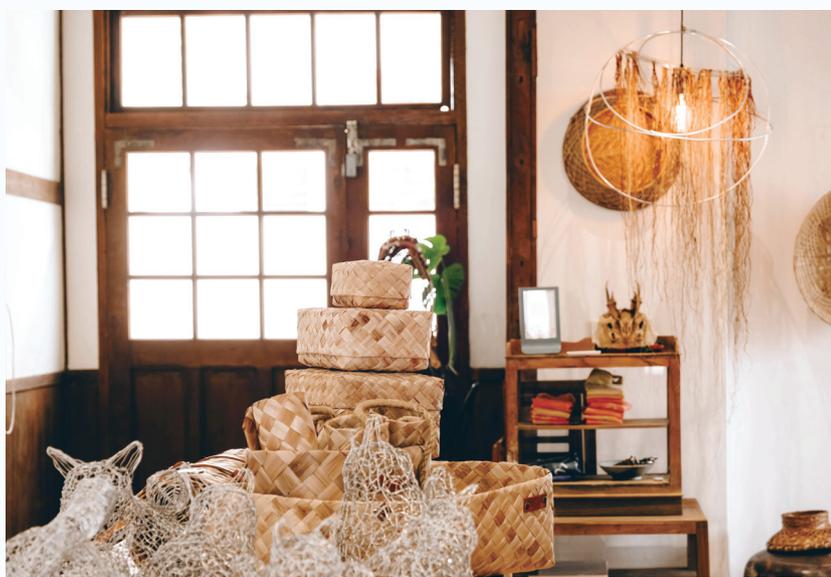
台湾原住民族の工芸品や服飾品を販売する雑貨店。原住民料理の軽食や酒類、ドリンクも提供しており、不定期でイベントも開催している。

原織



オーナーは屏東牡丹の南パイワン族の女性

屏東縣屏東市康定街 6 號 bit.ly/3HMy4Mq 11:00-21:00、火曜・水曜定休



店内はアーティストの交流や作品発表の場



原家

パイワン族やタイのアーティストが作る、月桃などの自然素材を利用した家具・雑貨・アート作品を展示・販売するインテリアショップ。

屏東縣屏東市康定街 8 號 11:00-19:00、不定休
facebook.com/vuvumade



屏東を中心とした台湾原住民族関連のクリエイティブグッズや小規模農家の特産物などを中心に取り扱うショップ。カフェ利用もできる。

原聚



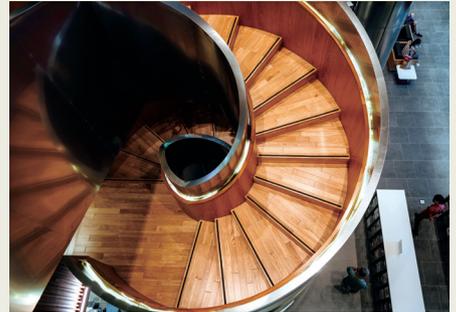
屏東縣屏東市康定街 12 號 11:00-21:00、火曜・水曜定休
pingtungharvest.mystrikingly.com/bulay



森の中に溶け込むような景観が美しい1階外回廊



カフェや雑貨店が入店する1階ロビー



1階から3階までを貫くらせん階段

屏東県立図書館総館 (森林図書館)

2020年8月にリニューアルオープンした屏東県立図書館の本館。緑豊かな公園内に佇む図書館は1階がガラス張りの前衛的なデザイン。外から眺めると、鏡のようなガラスに周囲の樹木が写り込み、図書館全体が森の中に溶け込んでいるかのようだ。図書館は誰でも利用できる。モダンなインテリアの館内には、ソファ、一人掛け、勉強用のテーブルなど、用途に応じた多彩な座席が用意されており、寛いだ雰囲気のおかげで自由に読書が楽しめる。1階ロビーにはカフェや雑貨店も入店しており、散策の途中に立ち寄るのもおすすめ。



図書館正面エントランス

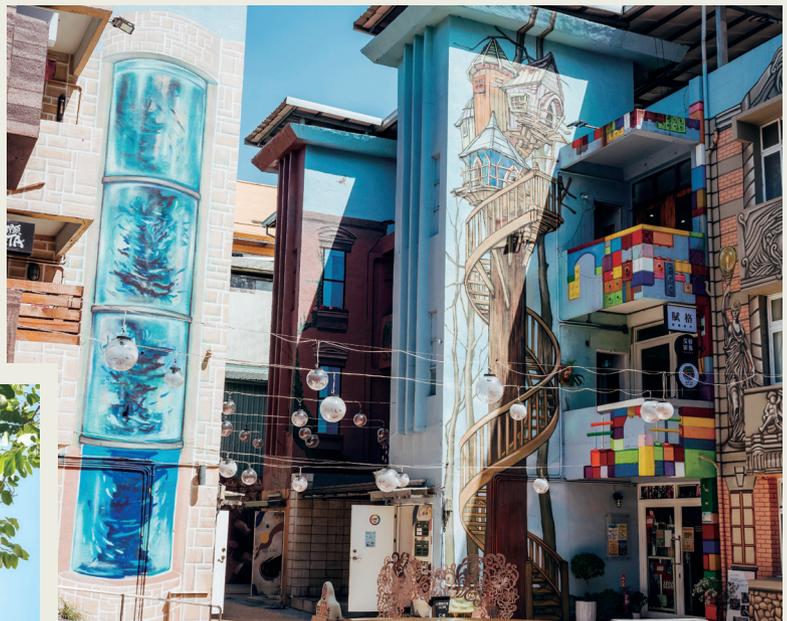


4階の台湾原住民族の石板屋の再現コーナー

📍 屏東縣屏東市大連路 69 號 (千禧公園内)
 🕒 9:00-21:00、月曜休館
 🚗 台湾鉄道屏東駅からタクシーで 8 分

屏東職人町

古いアパートの外壁にヨーロッパの街角の風景を描いた3Dアートを施した「屏東職人町」は、若者に人気のSNS映えスポット。向かい合う2棟のアパートの各部屋にはカフェや食堂、アトスタジオなどが入居しており、全体がおしゃれなアートビレッジになっている。



📍 屏東縣屏東市仁德路 43 巷 1-2 號 🕒 屋外 24 時間、店舗は店ごとに異なる
 🌐 facebook.com/propingtung 🚗 台湾鉄道屏東駅から徒歩 10 分



おしゃれグルメ

SNS映えの新シヨップ

長安製麺

Changan Noodle Bar 職人町

おしゃれスポット「職人町」で商いを営む食堂。コンクリートブロックがむき出しの店舗

と入居している建物の壁画がモダンな印象を醸し出している。店頭には打ち立ての麺が干してあり雰囲気満点だ。麺のメニューはネギ油で和えた「蔥油拌麵」と醤油ベースのたれを絡めた「臊子麵」がメイン。好みで麺の太さが選べ、特製ラー油をかけても美味。麺のお供に頼みたい小皿料理は、台湾風のキムチ「黄金泡菜」や豚ほほ肉の煮物「嘴邊肉」などが人気だ。店内で販売している製麺所自慢の乾麺はお土産にぴったり！



上から蔥油拌麵、嘴邊肉、黄金泡菜

📍 屏東縣屏東市仁德路 43 巷 2 號 1F
 🕒 10:30-19:30、月曜定休
 🌐 shop.changantw.com
 🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩 10 分



ずらりと並ぶ美味しそうなパン

黒胡椒毛豆

芋頭可頌

洛神蜂蜜乳酪

香橙可頌

📍 屏東縣屏東市公園路 66 號
 🕒 12:00-19:30、火曜・水曜定休
 🌐 facebook.com/meiju88
 🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩 11 分



ロゴもユニーク！



美菊麵包店

流行に敏感な若者から観光客にまで人気が広がり、平日の昼間も大盛況のベーカリー。店舗はコンクリート打ち放しの壁にシンプルなロゴを配し、カフェのような雰囲気。店内もシンプルモダンな明るい雰囲気、中央の陳列台に大量のパンが並べられている。パンは本格的な欧風パンから台湾の総菜パンまで幅広いラインナップ。台湾の枝豆を練り込み胡椒をきかせた「黒胡椒毛豆」、ローゼルクリームチーズの組み合わせが爽やかな「洛神蜂蜜乳酪」、オレンジとカスタードクリームとのデニッシュ「香橙可頌」、タロイモのデニッシュ「芋頭可頌」など、どの商品もはずれない美味しさだ。

伝統グルメ

地元民が通う

定番の味



猪血湯

正老牌屏東肉圓



魚丸湯



屏東肉圓

屏東名物の「屏東肉圓」は、米をすりつぶして作った皮で豚肉餡を包んで蒸しあげた料理。「小」サイズ1人前が3個入りなので、小食な人ならこれだけでも満腹になりそう。蒸した肉圓はあっさりした餅のような風味だが、醤油だれとすりおろしたニンニク、スープレオリが味を引き締めている。好んで唐辛子だれをかけてもいいだろう。付け合わせには魚のつみれスープ「魚丸湯」か固めた豚の血入りのスープ「猪血湯」がおすすだ。営業時間

📍 屏東縣屏東市民族路 61 號 (屏東夜市 61 番) ⌚ 4:30-14:00 🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩 7 分



詹記肉燥飯 幸福湯

看板商品の「肉燥飯」

は、皮つきの豚バラ肉を

細かく刻んで醤油ベースの甘め

のたれで煮込んだそばろを白米にの

せたそばろ飯。「幸福湯」は、虱目

魚(サバヒ)の皮、魚肉、つ

みれ、アサリ、シヨウガな

どが入った具材たっぷり

の海鮮スープ。具材にわさ

び醤油をつけて食べるの

が地元民の定番だ。ゆで

た素麺にそばろと肉団子を

のせた「乾麺線」やどんぶ

りに山盛りのゆでモヤシ「燙豆芽

菜」なども人気。どれもとにか

く量が多いので、注文時に

頼みすぎないように気を

付けよう。



燙豆芽菜



幸福湯



肉燥飯



乾麺線

📍 屏東縣屏東市博愛路 26 號 ⌚ 10:00-14:00、17:00-20:00、月曜定休 🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩 8 分

發財車旗魚黑輪



中央市場の傍らにたつ、カジキマグロの練り物を揚げた「旗魚黑輪」の専門店。香ばしく揚がった練り物のなかにはゆで卵が包まれており、そのままでも辛い唐辛子だれをつけて食べてもうまい。食事をする台湾風の甘い味噌汁が無料サービスと



📍 屏東縣屏東市福建路 78 號 ⌚ 12:00-17:30、月曜定休 🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩 10 分

スイーツ&ドリンク

まったりタイムの相棒



秋林牛乳大王

搾りたてのフルーツジュースやフルーツ山盛りのかき氷が人気の店。夏は夜遅くなくても行列が途切れず、閉店を待たずに売り切れる商品が続出するほど。看板商品の超濃厚なパイヤミルク「木瓜牛奶」は、出来立ての美味しさを味わうため20分以内に飲み切ろう。季節のフルーツを盛り合わせたかき氷「水果氷」は2人でシェアしても十分のデカ盛りのうえ、1杯わずか50元とコストパフォーマンスも抜群！



水果氷



木瓜牛奶

📍 屏東縣屏東市信義路 28 號
🕒 11:00-22:00、水曜定休
🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩 7 分



壹拾壹豆沙牛奶

綠豆沙牛奶（綠豆ミルク）と紅豆沙牛奶（小豆ミルク）が人気のドリンクショップ。綠豆も小豆も粒あんにそのままミルクを加えたような粒感のある濃厚な仕上がり。一見するとても甘そうだが、上品な甘さで非常に美味。



綠豆沙牛奶



紅豆沙牛奶

📍 屏東縣屏東市光復路 2 號 ☎ 0980-617-276 🕒 11:30-19:30（予約制）、土曜・日曜定休
🌐 facebook.com/BeanMilk11 🚶 台湾鉄道屏東駅から徒歩 4 分

一足のばして

屏東観光バスでめぐる カカオとコーヒーの旅

屏東県の定期観光バス「郵輪巴士」を利用すれば、交通が不便な観光地へも気軽に遊びに行くことができる。なかでも「603C 185 沿山可愛咖」は台湾原住民族文化と屏東県の特産物のカカオ・コーヒー・パイナップルを一度に満喫できるツアー。台湾原住民族郷土料理のランチ、カカオ園でのDIY、コーヒー園見学、パイナップル園でのアフタヌーンティーと、屏東ならではの楽しみがギュッと詰まっている。



銘泉農場



禮納里部落

路線ルート



郵輪巴士 603C 185 沿山可愛咖 (予約制)

詳細は台湾好行バス公式サイトを参照 (日本語) 🌐 bit.ly/40AnJtZ

客家村の 茶の旅

台湾の客家人の先祖は17世紀に海を渡って台湾にやってきた。主な居住地域は、北・中部の桃園・新竹・苗栗・台中、南部の高雄と屏東の六堆、東部の花東縱谷で、このうち桃園・新竹・苗栗は総人口に占める客家人の割合がもっとも高く、人口も密集している。

客家人グループの発展は、居住地域の産業と密接に関係してきた。客家の集落には、茶、柿、仙草など多彩な特産品があるが、なかでも19世紀中ごろから盛んになった茶産業は、客家人の生活と切り離せないものだ。2021年放送の台湾ドラマ『茶金』は、1950年代を背景に客家人の茶商一族の物語を描き、台湾で一大フィーバーを巻き起こした。ドラマのロケ地は人気観光スポットとなり、多くの観光客を客家集落に惹きつけている。

桃園龍潭と、2022年末に開館したばかりの「台湾客家茶文化館」で客家人と茶の物語を訪ね、続いて桃園、新竹、苗栗の山間の美しい景色と素朴な集落を歩き、客家の郷の魅力を見つめる旅に出かけよう。



桃園龍潭

客家人と茶の物語にふれる—— 「台湾客家茶文化館」参観

新しく開幕した「台湾客家茶文化館」は桃園龍潭に位置している。建物は丘のようになだらかな緑の斜面とガラス張りの明るく透明な通路を持つエコ建築で、遠くの山々と緑の草原を背景に、茶園の風景に溶け込んでいる。広大な園内は、「文化展示」と「産業体験」をテーマに、展示ホール、お茶の試飲室、レストラン、ホリデーマーケットなどのエリアに分かれており、レクリエーション施設が充実している。

天井から日光が降り注ぐロビー「天光大庁」を抜けると、メイン展示エリアが待っている。常設展「客庄四季（客家村

の四季）」では、客家村の生活風景をリアルに再現。生活用品の展示に体験型の展示を組み合わせ、客家の食文化をくわしく紹介している。特別展では客家語の台湾ドラマ『茶金』の人気シーンのセツトや衣装を展示しており、観光客に記念撮影の場を提供するとともに、台湾茶の黄金時代を再現している。

観覧後は外廊下を進み、異国情緒に満ちた「六国茶室」に向かう。ここでは個室で茶園の風景を眺めながら東西の異なるスタイルの茶席が体験できる。「福爾摩沙茶館」では、カウンターで淹れたての台湾茶、かき氷、スイーツなどを提供しており、リラククスした午後のティータイムが楽しめる。また館内には製茶工場も併設しており、間近で製茶の過程を見学できる。

台湾客家茶文化館は、小人国、六福村などの多彩なアトラクションがそろったテーマパークや、本格的な客家グルメを存分に味わえる三坑老街に隣接している。三坑自然生態公園で湖と山の風景に足を止め、四季折々の花が美しさを競う石門水庫風景区で遊覧船やサイクリングでダム湖を巡ったりしながら、休日のレジャーを思い切り楽しもう。



写真 / 台湾客家茶文化館



台湾客家茶文化館
桃園市龍潭區高原路 768 號
☎ 03-471-0855
🕒 9:00-18:00、月曜休館
📍 松山空港・MRT 景安駅から
台聯客運バス 5350 で「臺灣客家茶文化館」下車
台湾鉄道中壢駅から新竹客運バス 5653 で「臺灣客家茶文化館」下車

写真 / 台湾客家茶文化館

世界客家博覧会

世界初の客家文化がテーマの博覧会。「Travel to Tomorrow」をメインテーマに、客家の音楽、文学、工芸、美食、服飾などで客家の新しい姿を表現する。会期は2023年8月11日から10月15日。メイン会場は桃園空港MRT桃園体育園區駅 (A19)。

桃園 大溪

大溪は桃園で最も早くに発展した地区。河川交通で栄えた当時は多くの豪商が生まれ、競い合うように建てられた豪華な邸宅は台湾で最も有名な町並みを形成している。大溪では大溪老街（旧市街）で伝統建築を鑑賞し、地元のB級グルメに舌鼓を打ち、木製玩具や豆干等の土産物を買おう。

大溪老街の喧騒を離れ、車で20分ほどの山間部に佇む製茶工場跡の「大溪老茶廠」は、人気ドラマ『茶金』のロケ地。1926年に建設された旧工場は1956年の火災により消失したが、その後再建された。現在も少量ながら製茶も続けられている。1階では製茶機器・文物・歴史資料を展示しており、ギフトコーナーでは茶葉や茶器を販売している。

おすすめコース：大溪老街→大溪老茶廠

⑤ 大溪老街：高速鉄道桃園駅から台湾好行バス「大溪快線」で「大溪老街」下車
大溪老茶廠：バスターミナル「大溪總站」から桃園市バス5104で「大溪老茶廠」下車



小さな旅



おすすめコース： 渡南古道→関西老街 →錦泰茶廠→羅屋書院

⑥ 台北バスターミナルから國光客運バス1820Aで「關西鎮公所」下車

新竹 関西

関西は、田舎の静かな客家村。小さな集落には、伝統市場、老街の赤レンガ造りの「街屋」と呼ばれる商家の建物、築100年を数える羅屋書院、茶の香が漂う古い製茶工場、昔の生活を留める渡南古道など、語りつくせないほどの物語がある。なかでも渡南古道は、「樟之細路（クスノキの細道）」古道の一部で必ず訪れたいスポット。古道の出口ちかくの「石店子老街」は、独立書店や複合式カフェ、植物染め工房など、趣のある店が増えてきている注目の老街だ。

1936年創業の「錦泰観光茶廠」は、関西にわずかに残る二軒の製茶工場のうちの一軒。炭で焙煎する烏龍茶と客家の酸柑茶が主要製品で、関西の茶産業の隆盛がしのばれる大型の製茶機械が並ぶ工場は、いまだ観光工場に生まれ変わっている。

新竹 北埔

北埔は台湾に開墾にやってきた客家移民の集落。伝統的な客家の要素を色濃く残す北埔には豊富な開墾史と旧跡が息づいている。山間の集落の静かな通りには古い民家、老樹がよく似合う。老街周辺には清代、日本時代の建築が多く残り、見学できる歴史建築もある。

北埔老街からほど近い南埔社区は、にぎやかな老街とは異なり、伝統的な農村風情が息づいている。小さな農村だが、100年の歴史を誇る水車、様々な物語をもつ水路、客家の古民家「金鑑堂」、環境に優しい農業など、見どころが多い。古民家「錦繡堂」裏手の「古農具展示館」では、伝統的な農村の暮らしに触れながら農家生活を体験できる。



おすすめコース：
北埔老街→南埔社区

台湾鉄道竹北駅・高速鉄道新竹駅から台湾好行バス「獅山線」で「北埔老街」下車

客家村の

おすすめコース：
台湾客家文化館
→銅鑼茶廠→天空步道

公共交通機関が少ないため、
高速鉄道苗栗駅からチャータータクシー利用をすすめ



苗栗 銅鑼

三義郷の北に位置する銅鑼は有名な油桐の花の景勝地。毎年5月の見ごろには大勢の花見客が訪れ、九華山へ向かう「天空步道」からは山を染める油桐の花を眺めることができる。住民の多くが客家人の銅鑼には「台湾客家文化館」があり、近隣の「銅鑼茶廠」、九華山と観光ルートを形成している。

「銅鑼茶廠」は、茶園での茶摘み体験ができる観光製茶工場。製茶工場内部は広大な空間をうまく利用したシンプルなしつらえて、飾られた古い製茶器具がモダン建築と絶妙に溶け合っている。1階のカフェでは、異なる気候、土壌、湿度が育んだ様々なお茶とスイーツが味わえる。



『茶金』の物語をめぐる旅

文／連俞涵 写真／連俞涵・視野創異行銷

新竹県の北埔を訪れて、真っ先に目が引き寄せられるのは、きつと小さな路地だろう。客家文化の香りに満ちた北埔老街は、どの店も個性的だ。様々な品種の柿を使った柿餅（干し柿）から、自家製の老菜脯（大根の古漬け）、独特な風味の桔醬（金柑ソース）まで、街の名物を試食して客家料理に興味があったら、買い求めて自宅で料理することもできる。

もし多層的な味わいの飲み物が好きなら、ぜひ客家の伝統茶「客家擂茶」を試してみたい。毎日1杯コーヒーを飲む習慣があるなら、北埔の古民家が並ぶ路地裏に佇む、若い人たちが開いたカフェがおすすめだ。1日中歩き回った後に、甘いものを食べて一服しよう。

北埔でもっとも独特な味といえば東方美人茶だ。初めて東方美人茶を味わうと、その自然な蜜の香りに誰もが驚嘆する。何度淹れても、一煎ごとに甘みと香りが楽しめる。茶葉が

お湯のなかで開いていくのを眺めていると、一心二葉の茶葉がくるくると回る様子は、まるで小さな妖精が踊っているようだ。どの茶葉にも、この土地が育んだ風味がある。

初めて東方美人茶を飲んだ外国人のなかに、「このお茶には砂糖か花茶の材料が加えられているのではないか？」と思う人もいるが、実際にまったく何も加えられてはいない。東方美人茶の香りと味わいは、すべて茶葉由来のものだ。

台湾ドラマ『茶金』の劇中で語られているように、東方美人茶はある種の「傷つけられた」茶葉だ。この茶葉の独特な香りは、ウンカという虫に若芽が噛まれたあとに生まれるものだからだ。ドラマのあるシーンの台詞で東方美人茶を用いた比喻は、やさしさと思いやりに溢れている。

「茶葉は人とおなじ。傷は人を弱くしたり、強くしたりする。『傷』があなたと他の人の差をつけるの……」





台湾という土地も同じかもしれない。この美しい宝島は歴史の奔流のなかで紆余曲折を経て、世界で唯一無二の歴史と文化的風景を持つに至った。台湾の茶産業は、かつて世界から注目されていた。1枚の茶葉から、フォルモサ島の波乱に満ちた運命とその独特な文化の香りが、すべての路地とすべての人の成長の軌跡のなかに息づいているのを見ることが出来る。

北埔には、『茶金』の主人公一族のモデルとなった姜家の邸宅「姜家洋楼」が修復保存されている。ここを訪れると、物語の茶商のモデル・姜阿新氏の娘婿・廖運潘氏の回想録のなかに描かれた、かの時代の人々の面影に出逢うことができる。廖氏が姜家の物語を詳細に書き残してくれたことで、後世の私たちが彼らの足跡をたどって茶の歴史を再発見できることは、本当に素晴らしいことだ。私たちが実話をもとにしたドラマや登場人物を見ると、また姜家の邸宅に足を踏み入れるとき、まるで時空を超えたように、当時の人や事物との時間を味わうことができるのだから。

洋館を飾る彫刻は壮観だけでなく、特別な意味が込められているものもある。たとえば2階のアーチは、木彫り

の中間が茶葉の一心二葉に、外側に向かって伸びる線は開かれた本に見立てられている。

姜家の人によると、姜阿新氏は本を読むのが大好きで、本から多くのことをゼロから学んだため、当初はこの洋館を図書館にしようと考えていたが、すでに近隣に図書館があったため、姜家の子孫が洋館を買い戻したのち、少しずつ家を彼らが子供のころに住んでいた姿に復元していったのだという。

現在、姜家洋楼では姜家の子孫によるガイドツアーを開催している。隅々まで物語に満ちた邸宅で、劇中のシーンに入り込むのもよし、茶の黄金時代に足を踏み入れるのもよし。予約すれば誰でも参観できるので、ぜひ参加しよう。

『茶金』に次のような台詞がある。

「これは、1枚の茶葉から1杯のお茶に至る長い旅路。けれど、たった1分あれば、このお茶が価値があるものかどうかわかるの」

時間があれば、北埔でお茶を飲み、ゆっくりとこの旅路を味わってみてほしい。その余韻は、きっとあなたの心の中に香り続けることだろう。

連俞涵

女優・作家。2015年にドラマデビュー。主な出演作は連続ドラマ『一把青』、『茶金』、映画『流麻溝十五號』など。主な著作は詩集『女演員』、散文集『山羌圖書館』など。



台湾ドラマ『茶金』ポスター

茶金

2021年制作の台湾ドラマ。戦後の激動の時代を背景に茶商の盛衰と人々の生きざまを描き、台湾エミー賞史上最多16部門にノミネートされた。2023年1月6日から日本でもAmazon prime、Unext、dTV、Rakuten TV、Video Markte、Gyao、NTT Puraraにて順次配信スタート。日本語版DVDも同時発売中!

写真提供：公共電視

大稻埕

古い街の新しい横顔

淡水河沿岸の大稻埕は、清代末期から日本時代にかけて水運で栄えた港町だった。現在も迪化街を中心に、アーケードを持つ赤レンガ造りの「街屋」と呼ばれる商家の建物が立ち並び、乾物、漢方薬、茶葉、布地を取り扱う老舗問屋が軒を連ねている。近年は古い商家のリノベーションも進んでおり、新スポットも続々登場している。懐かしい雰囲気か漂う通りを歩きながら、古い街の新しい横顔を探してみよう。



大稻埕遊客中心

レトロな世界に
タイムトリップ



2階春生喫茶店

菊元装束所



2階

永楽燈苑



3階

稻江公学校



1階



客安中薬行



サービスセンター

大稻埕遊客中心

📍 台北市大同區迪化街一段44號 ☎ 02-2559-6802
 🎫 入館無料 🕒 9:00-18:00

菊元装束所 (2Fレトロ衣装レンタル)

🕒 10:00-17:00 (午前 10:00-10:30 受付・12:00 返却、午後 13:00-13:30 受付・15:00 返却、午後 15:30-16:00 受付・17:00 返却)

📌 予約制、レンタル無料、要保証金 NT\$1000 (衣装返却時返金)・身分証

🌐 オンライン予約: bit.ly/3vBJcoc

※ 前月の10日よりオンライン予約受付開始
 (例: 4月分予約は3月10日から受付)

※ 当日空きがあれば現地申込可

台北市のトラベルサービスセンター「大稻埕遊客中心」が、大稻埕の新しい観光スポットとして注目を集めている。館内施設は、1階が観光パンフレットや各種観光情報、携帯の充電サービスなどを提供するカウンタースタッフで、2階と3階が2021年のリニューアルオープン時に新設された撮影セットとなっている。2階の「客安中薬行」は伝統的な漢方薬店、「春生喫茶店」は1920年代の喫茶店を再現した本物の店舗のような空間。レトロ衣装レンタルを行っている「菊元装束所」でチャイナドレスを借りれば、モデル気分撮影がより盛り上がるだろう。3階の「永楽燈苑」は天井一杯にカラフルなランタンが吊るされた幻想的な雰囲気。椅子と机が並ぶ教室「稻江公学校」は休憩室としても利用できる。いずれも参観無料で自由に撮影が楽しめる。レトロな世界で大稻埕らしい記念写真を撮影しよう！



古い商家をリノベーションした建物外観

葉晉發商號

米産業の歴史を伝える 生きた博物館



📍 台北市大同區迪化街一段 296 號
☎ 02-2550-5567
🕒 13:30-17:00、月曜・火曜定休
💰 見学エリア：NT\$100
🌐 facebook.com/yejinfa1923

2021年放送の台湾ドラマ『茶金』に登場したテラス



2023 稲埕食光祭

2023年6月に開催される大稻埕の米産業をテーマとした産業創生・食農教育イベント。6月24日(土)と25日(日)に会場を歩行者天国にして実施する台日交流クリエイティブマーケットには、葉晉發をはじめとした台湾ブランドのほか、日本ブランドも参加する。

会場：台北市大同區迪化街北段（涼州街一民權西路間）
会期：2023年6月10日(土)～30日(金)



1階展示室では
籾摺機や資料を展示



三代目当主は楽団を結成し各地で公演を行っていた

「大稻埕」の地名は、清代に淡水河沿岸に広がっていた稲を干す広場「埕」に由来する。このころ大稻埕では「土壟間」と呼ばれる籾摺業者が、収穫した稲から籾を取り脱穀し、乾燥させてから籾摺りを行い米を玄米に加工していた。動力化が進んだ1920年代から30年代ごろには大稻埕の大橋町に46軒の工場が林立し、籾摺業は最盛期を迎えた。業者は台湾各地の農家から安価な籾を購入し、大量の籾を籾摺りして玄米に加工。これを移出商・輸出商・白米小売業者に販売し、利益を得ていた。

日本時代、「葉晉發商號」は日本へ米を送る籾摺・精米工場のうち、台北でもっとも規模が大きい工場のひとつだった。現在の店舗は、渡台初代当主の葉寬氏が1923年(大正12年)に購入した建物で、1階手前が店舗、1階奥が籾摺工場・穀倉・応接間、2階と3階が住居空間として使われていた。豪商となった葉家は、幅広い人脈を持つ街の名士として、豊富な資金で芸術家の支援も行っていた。現在、店舗建物は歴史建築に指定され、一般にも公開されている。籾摺関連の文物をはじめ、葉家所蔵の豪華な家具や楽器、古い写真などを通して、大稻埕の米産業の歴史と豪商の優雅な生活風景に触れてみたい。

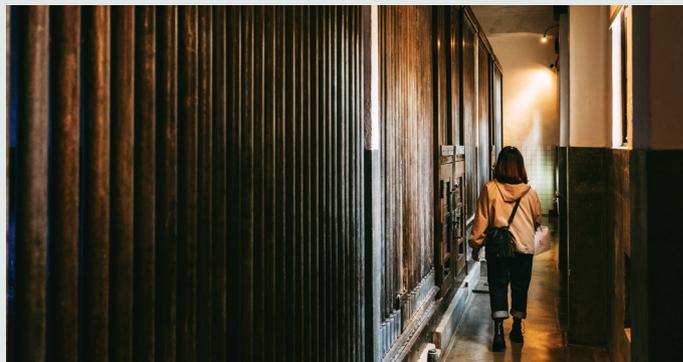
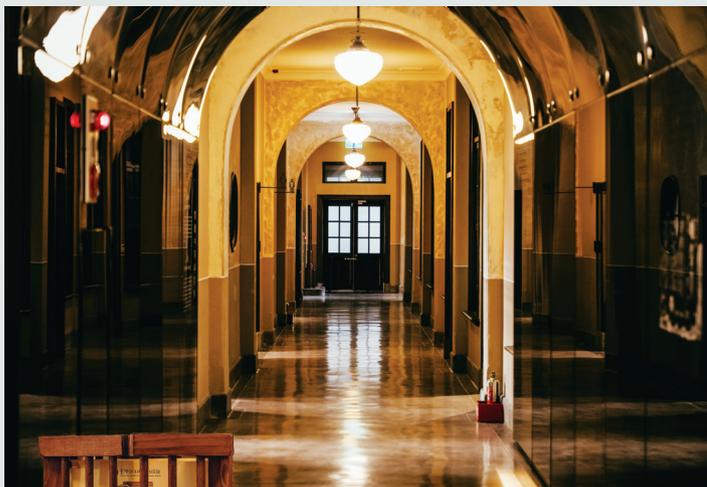
台湾新文化運動紀念館

警察史と

台湾新文化活動の語り部



📍 台北市大同區寧夏路 87 號 📞 02-2557-0087
🕒 9:30-17:30、月曜休館 💰 入館無料
🌐 tncmmm.gov.taipei ※館内撮影時はフラッシュ・三脚・自撮り棒等の撮影補助機材使用禁止



監視台を中心に扇形に配置された拘留室と水牢が残る留置場



1階カフェ



1階常設展示

建物の前身は1933年（昭和8年）に完成した二代目台北北警察署庁舎。建物は2階建てのコンクリート建築で、設計は台湾総督府官房宮繕課が担当した。外観は流線形を呈しており、正面中央エントランスの西洋式の円柱や2階の半円形の窓が優美な雰囲気を醸し出している。外壁に使用されている北投窯廠製造の褐色のタイルは、中山堂などにも見られる日本時代の建物の特徴のひとつだ。建物奥に残る扇形拘留室と水牢は台湾唯一のもので、台湾の警察史における重要な遺物となっている。戦後は台北市警察局と改称され、2012年に警察局が新住所に移転したのち、改修を経て2018年に「台湾新文化運動紀念館」としてオープンした。「台湾新文化運動」とは、林獻堂や蔣渭水が1920年代に立ち上げた「台湾文化協会」から始まった、社会主義や民族主義に影響を受けた台湾の知識人による文化・政治啓蒙運動を指す。館内では、台湾新文化運動の歴史や社会への影響などを、パネル展示やゲームなどの体験型展示で分かりやすく紹介している。1階にはカフェも併設しており、歴史を感じられる優雅な空間でティータイムも楽しめる。台北市定古跡。



台湾茶の歴史を 未来へつなぐ茶商

有記名茶 × Wangtea Lab

精製工場の焙籠間



有記名茶

📍 台北市大同區重慶北路二段 64 巷 26 號 ☎ 02-2555-9164 🕒 9:00-18:00、日曜定休
🌐 wangtea.com.tw/home-jp ※工場見学は要予約



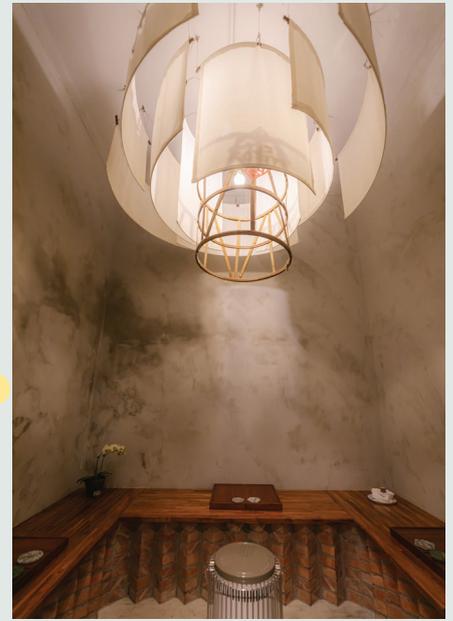
朝陽茶葉公園前に行む「有記名茶」は、大稻埕の茶の歴史を見守ってきた老舗茶商。オーナーの王氏の先祖は、鐵觀音茶の故郷として知られる中国福建安溪で代々茶に携わってきた茶農家で、1890年に茶商「王有記茶莊」を創業し、1907年に台湾茶の重要な輸出拠点だった大稻埕に進出した。1949年に工場を現所在地に移し、現在も店舗内の精製工場で荒茶の仕上げを行っている。工場では、熟練の茶師が荒茶をランク別に選別し、茎や葉脈を取り除き、「焙籠間（焙煎室）」で茶葉を炭火焙煎。さらに産地や収穫時期、色、味、香りの異なる茶葉をブレンドし、常と同じ品質と味わいの茶葉を消費者に届けている。店頭では試飲が可能で、茶葉ごとの発酵と焙煎の度合いを記したチャート表も参考にできるので、きっと好みの茶葉が見つかるだろう。

歴史建築に指定されている店舗建物





2 階客席



1 階半個室

Wangtea Lab

📍 台北市大同區重慶北路二段 64 巷 24 號 ☎ 02-2558-5551 🕒 10:30-19:30、日曜 10:00-19:00
 💰 ミニマムチャージ：1人1杯ドリンク、席利用：90分 🌐 www.wangtealab.com



お茶請けにはスイーツの名店とコラボした焼き菓子などを用意

有記名茶東隣の「Wangtea Lab」は、若い人にもっと自由に台湾茶を味わってほしいと、五代目オーナーが2020年に立ち上げた有記名茶の新ブランド。「ラボ」の名の通り、ここは有記名茶の茶葉と異なる抽出法を組み合わせた、新しいお茶の味わい方を提案する台湾茶の実験室だ。抽出方法は、茶葉にお湯を注ぎ濾す「手沖Pourover」、ティーエスプレッソマシンを用いて抽出する「原片萃茶「leafespresso」、その場で挽いた茶葉にお湯やミルクを注ぐ「濃縮萃茶SHO!T」、炭酸ガス(CO₂)または窒素ガス(N₂)を充填する「汲飲茶Draft」の4種類。なかでも「Draft」はまったく新しいお茶の味わいが楽しめる」と評判だ。炭酸ガス入りのお茶は炭酸の酸味がスイーツの甘みを引き立て、窒素ガス入りはお茶にまろやかな口当たりを加えてくれる。ベースとなるブレンド茶により、味わいが多彩に変化するのも楽しい。古民家を改装したモダンな店舗で、100年の歴史と新時代の息吹を感じさせてくれる新しい台湾茶を味わおう。

AKA café

大正浪漫薫る ティーハウス

オーナーのNEO氏は建築デザイナーで、日本の草月流いけばなの1級師範免許を持つ文化人。彼は築1000年の大正時代建設と伝わる洋館をリノベーションし、伝統建築やバロック建築などの要素を融合させた大正浪漫薫る華麗なカフェに生まれ変わらせた。建物の1階はカフェ、2階は茶道と香道の体験空間、3階はオーナーの私的な応接室と草月流いけばな(華道)教室となっており、不定期でライブイベントも開催している。厳選したスペシャルティコーヒーに、台湾産の烏龍茶やコーヒー、フルーツなどを使用した、台湾の味覚を存分に楽しめるスイーツセット「甜點盒」を味わって、優雅なティータイムを満喫したい。



甜點盒三層

📍 台北市大同區民樂街 66 號後棟 ☎ 02-2550-1280
 🕒 11:00-19:00、火曜定休 📞 予約制、ミニマムチャージ:
 1人1杯ドリンク、席利用:90分
 🌐 facebook.com/aka.cafe.tw
 ※館内は自席でのみ撮影可、席を離れての撮影不可



写真/ AKA café

1938年(昭和13年)に台中駅前前で創業した老舗かき氷店。創業者が日本のみつまめを参考に作ったかき氷が台中市民に愛されてきた。台中本店はコロナの影響で2021年に惜しまれながら閉店したが、三代目オーナーが2022年に台中から大稲埕に店舗を移したことで、老舗の味が台北で味わえるようになった。名物かき氷「招牌蜜豆冰」は、煮豆やフルーツのシロップ煮、フレッシュフルーツをトッピングした具だくさんのかき氷。さっぱりとした味わいで、透明のかき氷「清氷」か、ふわふわのミルクかき氷「雪花冰」が選べる。冬場は、リュウガンの濃厚な香りと甘さが楽しめる、小豆、緑豆、白玉などが入った甘いお粥「八寶米糕粥」がおすすめ。

幸発亭蜜豆冰(大稲埕) 台中発のレトロな老舗甘味店

八寶米糕粥



📍 台北市大同區迪化街一段 196 號
 ☎ 02-2553-7787
 🕒 11:30-18:30、水曜定休
 💰 ミニマムチャージ: 1人 NT\$120、
 席利用: 休日は1時間
 🌐 facebook.com/singfating



招牌蜜豆冰



📍 MRT 大橋頭駅・MRT 北門駅から
徒歩で各スポットへ



Google Map



杜甲 A-Ma 台北迪化店

選り抜かれた極上唐辛子

香酥脆椒を漬け込んだラー油「巴蜀蒜椒油」は調味料に



塩で調味した食べるラー油「杜甲香麻醬」はご飯のお供に



📍 台北市大同區迪化街一段 159 號
 ☎ 02-2552-8787
 🕒 10:30-18:30
 🌐 facebook.com/DoGaAma
 ※食べるラー油は開封後は冷蔵庫へ

ブランド名の「杜甲 (DoGa)」は創業者・李威辰氏の祖母の名前、「A-Ma」は台湾語で「祖母」を意味する「阿嬤」に由来する。李氏は2005年に台湾初の唐辛子スナックのブランド「DoGa」を立ち上げ、2013年に台南安平に第1号の旗艦店を開店した。唐辛子に白ごまを詰めたスナック「香酥脆椒」は、創業時から現在まで続く看板商品だ。姉妹ブランドの「杜甲」は、2017年から唐辛子食品の新しい可能性の研究を開始。2021年には台北迪化街に進出を果たし、新たな唐辛子の世界を展開している。迪化店は唐辛子で埋め尽くされた入口わきの壁が印象的で、店内は高級食器店のようなラグジュアリーな雰囲気だ。扱う商品は、白ご飯のお供にぴったりの食べるラー油をはじめ、完全無添加の透明でクリアなラー油、唐辛子や世界のスパイスのパウダー、唐辛子やハーブを加えたお茶、唐辛子スナックや麺類など幅広い。味わい深い商品はパッケージも美しく、大切な方への贈り物にも最適だ。

ベジタリアンレストラン

おしゃれで美味しい！

台湾では昔から宗教上の理由で「素食」と呼ばれる菜食を選択する人が多い。近年は健康志向や環境保護、動物愛護の観点からベジタリアンに興味を持つ若者が増え、茶館からカフェ、バー、居酒屋まで、モダンでおしゃれなベジタリアンレストランが続々登場している。台北のおしゃれなベジタリアンレストランで、ヘルシーで美味しく、地球環境にも優しいベジタリアンフードを楽しもう！

台湾素食豆知識

台湾政府衛生福利部が規定する素食5表示は以下の通り

全素（純素）：植物五辛を含まない純植物性食品

蛋素：卵使用

奶素：乳製品使用

奶蛋素：卵、乳製品使用

植物五辛素：ネギ、ニンニク、ニラ、ラッキョウ、玉ネギ使用

台湾茶館



禪風茶樓

台湾茶とベジタリアン仕様の台湾料理を提供するレストラン。茶芸館風の店内は落ち着いた雰囲気、ゆったりとお茶と食事が楽しめる。伝統的な製法で職人が丹念に焙煎した茶葉、アニマルウェルフェアに配慮した飼育で育てた鶏の卵など、食材にもこだわっている。茶葉入りサラダ「白毫玉葉鬆」やトマトの梅漬け「蜜番茄」などの前菜から、包種茶とタロイモのお焼き「包種芋頭煎餅」やインゲン豆炒め「乾煸四季豆」、酸辣湯風の麺「酸辣煨麵」やキノコの玉子丼「月見芙蓉」などの料理、鉄観音茶と小豆餡入りの米粉の蒸しケーキ「茶香鬆糕」などのデザートまで、メニューも多彩。



📍 台北市中山區松江路 182 號 2F
☎ 02-2567-8977
🕒 11:30-14:00、17:30-21:00
💰 ミニマムチャージ：1人茶代 NT\$40、サービス料：10%
🌐 facebook.com/ZenTeaRestaurant
🚶 MRT 行天宮駅から徒歩 4 分



月見芙蓉



包種芋頭煎餅



茶香鬆糕



酸辣煨麵

従心茶館

西門町と龍山寺の間に位置する、台湾茶と精進朝食が同時に楽しめる茶芸館。「主軸は賣茶、飯糰は媒人（主軸は茶葉の販売で、おにぎりは媒酌人）」をモットーに、阿里山烏龍茶など厳選した台湾茶を取り揃えている。朝食の看板メニューは、ごぼう天、紅茶煮卵、中華揚げパン、白菜漬けを赤米と台湾長米で包んだ台湾式おにぎり「五彩經典飯糰」。ピリッと辛い麻婆豆腐入りの中華まん「麻婆豆腐包子」も人気だ。大豆の風味が濃厚な豆乳は朝食のお供にぴったり。



五彩經典飯糰



📍 台北市萬華區康定路 95 號
☎ 02-2381-9396
🕒 7:30-14:00
🌐 bit.ly/3l2f24Y
🚶 MRT 西門駅から徒歩 10 分



麻婆豆腐包子





Plants

「美味×健康×永續」を理念に掲げ、サステナブルフードを使ったヘルシーで美味しい料理を通して、よりよい地球環境の実現を目指しているヴィーガンカフェ。有機・自然農法で育てた非遺伝子組み換えの植物性食品のみを使用しており、グルテンフリー、卵・乳製品・大豆・精白糖不使用にもこだわっている。ビートのサラダタルト「甜菜根韃靼」、フジマメを使ったコロッケに似た中東料理のファラフェル「中東扁豆法拉費」、チアシードとナッツミルクにメープルシロップをあわせたプディング「楓糖奇亞籽布丁」など、どの料理もおしゃれで美味しいと評判だ。

右から時計回りで甜菜根韃靼、中東扁豆法拉費、楓糖奇亞籽布丁



📍 台北市大安區復興南路一段 253 巷 10 號
 ☎ 02-2784-5677 🕒 11:30-21:30、月曜定休
 💰 ミニマムチャージ：1人1品、サービス料：10%
 🌐 www.plantseatery.com.tw
 🚶 MRT 大安駅から徒歩 5 分



UNCLE Q Vegan 創意蔬食餐庁

アメリカから台湾に帰化した台湾プロバスケットボールリーグのクインシー・デイビス選手がオーナーを務めるヴィーガンレストラン。メンチカツ風に仕上げた黒豆のパティをアメリカンバーベキューソースで味付けしたハンバーガー「Q叔叔漢堡 經典黑豆排美式烤肉醬」など、肉や魚を使わない完全菜食料理とは思えないほど美味しく、満足感が得られるメニューがそろっている。リゾット、パスタ、デザートも本格的。ヴィーガン料理初心者におすすめのレストランだ。



デイビス選手のユニホームやシューズなどが飾られた店内



📍 台北市大安區潮州街 105 號 1F
 ☎ 02-2356-8095 🕒 11:30-15:00、17:30-21:00
 💰 ミニマムチャージ：1人NT\$200、席利用：1.5時間
 🌐 facebook.com/uncleqvegan 🚶 MRT 東門駅から徒歩 10 分 ※臨時休業は Facebook で告知





乾煸四季豆



找不到臭豆腐



CHAO 炒炒新亞洲蔬食

「熱炒」は、夜遅くまで料理とビールが楽しめる台湾式居酒屋。東区の路地裏に佇む「CHAO」は、台北でも珍しい台湾料理と東南アジア料理を提供するベジタリアン熱炒店だ。鶏肉風植物肉の唐辛子炒め「宮保雞丁」、植物由来の魚肉の甘酢炒め「糖醋魚片」、炒り卵風に崩して炒めた臭豆腐に揚げパンを散らした「找不到臭豆腐」、インゲン豆炒め「乾煸四季豆」、青江菜と植物肉の上海風炊き込みご飯「上海菜飯」など、どの料理もベジタリアン料理とは思えないほど完成度が高い。濃い目の味付けはよく冷えた台湾ビールと相性抜群！



糖醋魚片

- 📍 台北市大安區大安路一段 52 巷 21 號
- ☎ 02-2775-3005 📞 サービス料：10%
- 🕒 17:00-23:00、土曜・日曜 11:00-14:30、17:00-23:00
- 🌐 facebook.com/ChaoChaoStirFry
- 🚶 MRT 忠孝復興駅から徒歩 2 分



桑格利亞

BaganHood 蔬食餐酒館

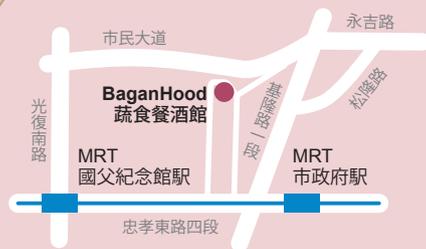
動物愛護と地球環境にやさしい食生活を提案するレストラン&バー。一番人気の「松露植物漢堡排」は植物由来の人口肉のパティをはさんだハンバーガー。パティは見た目も食感も肉そのもので、驚くほどジューシー。トリュフの香りをまとったマヨネーズソースがパティの味を引き立てている。ピザも人気で、植物由来の豚肉、ハラペーニョ、キノコ、トマトソースをのせた「辣味新豬肉Pizza」は青唐辛子の辛さがお酒にあう。アルコールは、白ワインにオレンジジュースを加えたサングリア「桑格利亞」などのカクテルをはじめ、ビールやワインもそろっている。美味しい料理とお酒を心ゆくまで楽しもう。



辣味新豬肉Pizza



松露植物堡



- 📍 台北市信義區忠孝東路四段 553 巷 46 弄 11 號 ☎ 02-3762-2557
- 🕒 ランチ 11:30-16:00 (ラストオーダー 14:30)、ディナー 17:00-22:00 (ラストオーダー 20:20)
- 💰 ミニマムチャージ：NT\$200、サービス料：10%、席利用 110 分
- 🌐 facebook.com/BaganHood 🚶 MRT 市政府駅から徒歩 7 分

台南東山「覓蜜團」

金色に輝く山々と 蜜が流れる春



春になると様々な花が咲くが、サクラ、ツツジ、カラ、キワタ、ヒトツバタゴ、コガネノウゼンなどの街路樹や観賞用の花木のほかに、果樹が開花していることに気が付く人はあまり多くない。例えば、台南麻豆、花蓮瑞穗、宜蘭冬山などの土地では文旦の花が濃厚な香りを放っているし、アップルマンゴーの花が咲くと山が赤一色となり、柑橘類が開花すると一面に雪が積もったようになる。また宜蘭三星のナシの花は小さな雨傘を差しているなど、それぞれに独自の美しさがある。なかでも最も壮大で、その樹の下に何千もの「軍隊」が集まる光景が見られるのが、リュウガンの開花だ。

ここでいう「軍隊」とは、人ではなくミツバチを指す。台湾の市場には、メヒルギ、アボカド、ハクセンソウ、オクトパスツリー、サカキなど多種多様な蜂蜜が出回っているが、リュウガンとライチ、そして多種類の花の蜜を合わせた百花蜂蜜が最もポピュラーな理由は、リュウガンとライチの開花時期が集中しており、なおかつ採蜜の効率が非常に高い蜂蜜だからだ。なかでもリュウガンは香りが濃厚で結晶化しにくいいため、「台湾の蜂蜜の王様」とされている。

春の日に高雄大岡山、台南東山、南投中寮などのリュウガンの産地に出かけると、満開のリュウガンの花の美しさに驚嘆することだろう。リュウガンの花は金色で、花弁はキンモクセイのようによく、密集して咲いており、一枝に数千の花が集まっているため、満開時は山が金色に染まる。

最も美しいのは花そのものだけでなく、花がもたらす産業文化だ。毎年3月から4月にかけて、台湾全国の養蜂家がリュウガン農場のオーナーと事前に予約を取り、巣箱と共に「花を追って」リュウガンの果樹園に移動し、ミツバチに蜜を集めさせる。何億ものミツバチが移動する珍しい光景は、台湾の重要な蜂蜜産業を生み出した。リュウガン農家も無料で花粉を受粉してくれる労働力を得ることができたため、ふたつの産業は互いに協力し、依存している。リュウガンの開花は、まるでリュウガン農家と養蜂家の一年に一度の「甘い逢瀬」の合図のようだ。

リュウガンの花は蜂蜜のほかに、近年では「リュウガン花茶」が人気を集めている。リュウガン花茶は茶葉ではなく、樹か



台南東山仙湖農場



採蜜風景



リュウガンの実

揺り落としたりリュウガンの花に85度のお湯を注いだもので、リュウガンの蜂蜜と同じ香りとほのかな蜜の味はするが、しつこい甘さとカフェインは含まない。リュウガンは安眠に効果があるとされ、寒い冬の夜、就寝前に一杯飲み、温かな金色の花茶を両手で持ち、花の香りを嗅ぐと、穏やかに安穩とした幸福感が感じられるため、年を追うごとに人気が高まっている。

しかし、リュウガンの花をむやみに揺り落とすことは控えるべきだ。花が落ちてしまうと、8月にリュウガンを食べることができなくなるからだ。理由は、最初に咲く花はたいいてい雄花で、3〜7日後に雌花の開花を迎えるためだ。つまり、花が咲いてから7〜10日後には雌花の受粉が完了し、雌花は枝にしっかり固定されるが、受粉完了後の雄花は揺すればすぐに樹から落ちてくる。このため、油桐花の花見の際に地面に落ちていのがすべて雄花であるのと同じように、リュウガン花茶の大部分も雄花なのだ。

リュウガン、リュウガンの花、リュウガン蜂蜜の間には、小さいながらも非常に興味深い農業にまつわる話が数多くある。一般の人々に、これらの農村と物産について、より理解を深めてもらうため、台湾レジャー農業発展協会では毎年4月に、リュウガンの花の開花時に台南東山仙湖農場と協力して1泊2日の採蜜会イベント「覓蜜團」を開催している。イベントでは養蜂家、リュウガン農家、ガイドから様々な話

を聞き、現地でミツバチの目を盗んで蜂蜜を採ったり、リュウガンの樹から花を揺り落したりするほか、アボカド、パイナップル、モッコク、ニンジンボクなどの蜂蜜を味わうこともできる。なかでも淡い焼き芋のような風味のハクセンソウの蜂蜜や、漢方の人参のような甘みと苦みがあるオクトパスツリーの蜂蜜などはぜひ味わいたい。一度に様々な種類の珍しい蜂蜜に出逢える楽しいイベントだ。

これらの、農地と結びついた農業物産を深く掘り下げると同時に、食と農業の知識、産業文化を伝える旅は、台湾特有の農業体験だ。2023年の仙湖農場の「覓蜜團」は4月14日から15日の開催予定となっている。関連イベントについては、開催日が近づく台湾レジャー農業発展協会のサイト「農遊超市 Farmtour Market」で検索・購入できる。



農遊超市 Farmtour_Market

農遊超市 Farmtour_Market www.taiwanfarm.com.tw



様々な花の蜂蜜



リュウガン花茶

その粽は南部粽、それとも北部粽？

文／陳靜宜 写真／視野創異行銷



陳靜宜

台南人。「人は食と切り離せず、食もまた人と切り離せない」を信条とし、食文化を愛する。グルメ記者歴20年。雑誌コラム、特約取材などを執筆し、台湾高速鉄道車内誌『T-Life』、マレーシア星洲日報コラム『有情有味』などに寄稿。著書は『喔！臺味原來如此』『啊！這味道』『臺味』など。



北部の粽

台南で生まれ、子供時代を過ごした私は、30年あまり前に台北に居を移した。初めて台北に到着し、友人たちと台北公館近くの夜市を歩いていると、ふと「蚵仔麵線（カキ入り煮込み素麺）」の四文字が目に入った。思いがけず、長らく食べたいと思いながら食べられなかった蚵仔麵線に出逢えたことがうれしくて、さっそく注文して食べてみた。

意外にも、テーブルに運ばれてきたのは私が全く知らない料理だった。台南の「蚵仔麵線」は白い麵線とカキと透明なスープの組み合わせだが、これは違う。このとき私は食べながら心の中で叫んでいた。「蚵仔麵線なのに、どうして台北のは中に豚のホルモンが隠れてるの?」「どうして麵が茶色なの?」「私はいったい何を食べてるの?」

若かりし日の私が、この蚵仔麵線から学んだのは南北の違いだ。地理的な違い、都市と地方との違い、人的要因などが織り交ざること、異なる食の風景が生みだされるのだ。

ひと粒の粽が分ける東西

台湾の面積は3万6000平方キロメートル。小さい土地だが地方により食文化が異なる。例えば、トマトは南北で異なる見方と食べ方をされる。北部人はトマトを果物として粉砂糖や甘草粉をつけて食べるが、南部人は野菜として醤油だれとおろしショウウガをつけて食べる。甘酸っぱく、甘辛い味わいのカットトマトは、トマトにたれをつけて食べるのではなく、たれにトマトをつけて食べるのがポイントのようだ。

トマトのほかに、肉圓や滷肉飯も「南北版」に分けられる。それぞれに



南部の粽



台北の蚵仔麵線



台南の蚵仔麵線



支持者がいるが、彼らの背景の大部分には自らの飲食習慣があり、またその生活環境にも深く関係している。

端午の節句でさえ、毎年、粽をめぐって南北戦を繰り広げる人々がいる。南北の粽は具材や包む素材、調理法が異なる。北部の粽を包むのは竹皮だ。炊いたもち米と豚肉、干しエビなどの具材を炒めて竹皮で包み、鍋で蒸しあげる。中身が油飯（おこわ）とまったく同じなので、「油飯を立体にして包んだだけ」と揶揄し、「3D油飯」と呼ぶ人もいる。

南部の粽は笹の葉や月桃の葉で包むのが主流だ。水に浸した生のもち米と豚肉、アヒルの卵の塩漬けの卵黄などの具材を葉の中に入れて包み、鍋に沸かした湯で茹であげる。

食をめぐる論争は台湾以外の地域でも起こっている。中国大陸では「豆花（豆腐に似た食品）は甘いか塩辛いか」をめぐる、16万のコメントが集まるネット戦が勃発した。シン

ガポール



潤餅

とマレーシアでも「本物の肉骨茶（バクテー）」の定義について熾烈な論争が繰り広げられた。しかし、食に正しいも間違いもなく、互いの特色を尊重するべきではないだろうか。

食物の時間軸と変化

歴史や地理などの要因に加えて、人的要因も食の拡大や変化の担い手となっている。人は食と切り離せず、食もまた人と切り離せない。故郷の食習慣は子孫の食卓の記憶に影響を与えている。潤餅（台湾風春巻き）を例にすると、ある家庭の潤餅の定番の具が、柔らかく煮込んだキャベツ、エンドウ豆、落花生の粉なら、その家族の祖先は漳州と廈門から来た移民の可能性がある。また、大量のニンジンを含む家の先祖は泉州からの移民で、モヤシをたくさん包む家の先祖は福州からの移民だろう。

本文の冒頭でふれた蚵仔麵線について、30年あまりの時を経て、私はいくつかの手がかりを得た。中国福建省漳州の人々も蚵仔麵線を食べるのだが、現地で2人の80歳の婦人が作る蚵仔麵線に、台湾南北のふたつのバージョンの蚵仔麵線を見つけたのだ。しかも彼女たちは、どちらにも白い色の麵線を使っていた。

麵線の色の違いについては、食品加工技術と商業的な要因を考慮すると理解できる。伝統的な白い麵線は煮崩れしやすく、長時間煮込むのには不向きで、麵から溶け出したでんぷんで湯が濁って粘りが出るため、店は常に新しい水に替える必要があった。また白い麵線は蒸して加熱すると茶色になり、麵のたんぱく質が変化することで状態が安定し、長時間煮ても煮崩れなくなる。このため多くの店が茶色に変化させた「紅麵線」を使うようになり、それが人々の食習慣に影響したのだ。

食物のルーツをたどると、いまの世代、前の世代、さらに昔の生活につながっている。人々と土地の過去と現在から、私たちは自身についてより深く知ることができるだろう。



カットトマトのショウガ醤油だれ添え

南部の滷肉飯



北部の滷肉飯



生まれ続ける

文化施設の変化と再生

文／田育志 撮影／林科呈

写真提供／海邊的卡夫卡、豪所在

雑誌『FOUNTAIN 新活水』とは
『FOUNTAIN 新活水』の毎号のテーマは社会の脈動と密接に関連しています。文化的観点から、地域・境界・世代を超えて交差する精神を強調し、重要な問題や現象の詳細な討論と発掘を行っています。鮮烈な視覚的美学が魅力の雑誌は文化的対話を構築するための重要なプラットフォームになっています。

台湾では文化事業の経営は自力で継続できないことが多いが、それでも多くの個性的な文化施設が生まれ続けている。なぜ経営者は自ら望んで事業に身を投じるのだろうか。彼らはどのような新しいアイデアを念頭に置いているのだろうか。『FOUNTAIN 新活水』編集部がいくつかの事例を読者の皆様にご紹介する。

郭怡美書店 台北市大同區迪化街一段129號

郭怡美と過ごす大稻埕の読書とコーヒーの時間

2022年末、読書共和国の社長・郭重興は子供時代を過ごした大稻埕に戻り、祖父が「郭怡美商行」を立ち上げた店舗を借り受け、「郭怡美書店」を開店した。

書の灯台を打ち立て、この場所を訪れる人々に、大稻埕の文化の息吹を再び感じてほしいからなのです」と話す。

「皆さんはご存じないかもしれませんが、日本統治時代の大稻埕は文化的水準が非常に高かったのです」と、郭重興は回想する。当時の商家の多くは、示し合わせたわけではないにもかかわらず、こぞって子女を海外に留学させた。帰国した留学生たちが持ち帰った日本や欧米の空気により、当時の大稻埕は異国情緒と文化に満たされていた。郭重興は「書店を経営するのは、商業的な雰囲気の中に読

大稻埕でよくみられる乾物問屋やカフェとは異なり、この場所は一階の店舗だけではなく、前後二棟の建物の二階と三階の空間を組み合わせ、書店の機能を拡大している。郭重興は、「ここでは音楽鑑賞会を開いたり、映画についての講演会、本や文化に関するイベントなどを開くことができます。色々なイベントをここで開催できればと思っています」と今後の展望を語っている。

高雄港で出逢う新生カフカ

2005年にロックバンド

「1976」のボーカル・阿凱が立ち上げた音楽カフェ「海邊のカフカ（海邊のカフカ）」公館店は、17年の間に多くの音楽クリエイターやアートワーカー（芸術文化活動従事者）を育ててきた。公館店は2023年2月に閉店したが、「海邊のカフカ」の新店が2022年夏に高雄流行音楽中心に誕生し、店の歴史と生命を引き継ぎながら、新しい活力をもたらしている。

両店の違いについて尋ねると、「高流店の方が活気があります！」という答えが返ってきた。阿凱はこの十数年を振り返り、公館商圏の芸文環境は徐々に活力を失っていったように見えたと回想し、「『挪威森林（ノルウェーの森）』もなくなってしまうたし、『路上撿到一隻猫（路上で一匹の猫を拾った）』も温羅汀を去りました」と語る。



「高雄は常に成長している都市で、毎日私に『Surprise Me!』な気持ちを感じさせてくれます」と言う阿凱は現在、

高流店を拠点として、南部の音楽クリエイターやアートワーカー、とくに若い世代とより多く繋がりたいと考えている。「契約やライセンス、法務上の経験を共有したり、クリエイターと契約関係を結んだり、私たちが蓄積してきた強みを活用できます」と阿凱は語る。将来、「海邊のカフカ」高流店も高雄に「surprise」をもたらし、次代の「HUSH（台湾のミュージシャン）」を発掘できるかもしれない。



海邊のカフカ
高雄市鹽埕區真愛路1號1F（高雄流行音楽中心低音塔・海側）

故郷の伝統産業に花開く 新しいつぼみ

「クリエイティブラボ」をコンセプトにした「豪所在」は、2022年に彰化社頭で開業した。代表の劉孟豪はこの場所を「新しいタイプの住民活動センター」と定義しており、地元住民も自由に出入りして活動してほしいと考えている。

劉孟豪は「地域社会や伝統産業とのつながりがビジネスの核心だ」と語る。ふたつのスペースのうち「聚所」は多目的展示スペースとなっており、各種パフォーマンスやコンサート、ワークショップがこの場所で開催され、人々が集まり、ともに地方が生み出すクリエイティブなイベントを探索することが期待される。もうひとつの「襪所」は社頭の繊維・靴下産業を支援しており、10のデザインブランドと提携し、美しく質感のある靴下を販売している。

このスペース経営は好評を博しており、「私たちの活動を見て、

『自分も故郷に戻ってもいいかもしれないと思った』と私に話してきた若者がいたので」と劉孟豪は喜びを語る。「豪所在」の存在は、この土地をより暮らしやすくする試みであり、若者に故郷に戻って活躍したいと思ってもらえたら、それが何よりなのだ。



豪所在 彰化縣社頭鄉社斗路一段353號

注 釈

読書共和国：台湾の出版グループ。傘下に40の書籍出版ブランドがある。

大稻埕：台北市の南西エリア。19世紀の台北で最も繁栄した貿易の集散地だった。

温羅汀：台湾大学、師範大学周辺の温州街、羅斯福路、汀州路一帯を指す。路地裏に数多くの特色あるカフェや書店があり、文化の息吹に満ちている。本文で紹介している「挪威森林」と「路上撿到一隻猫」はカフェの店名。

彰化社頭：台湾中部・彰化県の街。繊維産業（靴下産業）で知られる。

※本編は新活水2023年1月号掲載の第33回「一點新意思 Something New」を再編集したものです。



表一、2022-2021年国民出国者数月別統計比較表

月份	2022年(単位：人)	2021年(単位：人)	比較増減(%)
1	25,925	20,969	23.63
2	59,362	36,861	61.04
3	44,089	34,733	26.94
4	40,676	26,318	54.56
5	45,602	24,495	86.17
6	66,870	37,120	80.15
7	102,395	36,951	177.11
8	128,811	39,423	226.74
9	126,864	28,132	350.96
10	172,319	25,928	564.61
11	276,570	22,401	1134.63
12	393,338	26,646	1376.16
合計	1,482,821	359,977	311.92

2022 JAN-DEC 出入国人数統計

訪台旅客総数：895,962 (537.79%)

外国人旅客数：830,902 (639.17%)

(うち日本人旅客数)：87,616 (771.28%)

僑民旅客数：65,060 (131.79%)

出国者人数：1,482,821 (311.92%)

※ () 内は昨年同期比

表二、2022-2021年訪台旅客月別統計比較表(居住地別)

月別	2022年(単位：人)				2021年(単位：人)				比較増減(%)		
	合計(A)	僑民(C)	外国人(E)	毎日平均人数	合計(B)	僑民(D)	外国人(F)	毎日平均人数	合計(A/B)	僑民(C/D)	外国人(E/F)
1	7,639	1,866	5,773	246	14,794	2,615	12,179	477	-48.36	-28.64	-52.60
2	11,556	2,587	8,969	412	12,674	1,341	11,333	452	-8.82	92.92	-20.86
3	20,036	2,210	17,826	646	18,406	2,315	16,091	593	8.86	-4.54	10.78
4	29,760	1,675	28,085	992	17,843	1,958	15,885	594	66.79	-14.45	76.80
5	32,466	1,837	30,629	1,047	10,719	1,557	9,162	345	202.88	17.98	234.30
6	38,454	3,208	35,246	1,281	2,779	914	1,865	92	1283.74	250.98	1789.87
7	49,991	4,518	45,473	1,612	5,480	1,398	4,082	176	812.24	223.18	1013.99
8	69,299	6,609	62,690	2,235	7,960	2,322	5,638	256	770.59	184.63	1011.92
9	68,318	6,915	61,403	2,277	12,264	5,357	6,907	408	457.06	29.08	789.00
10	93,206	6,203	87,003	3,006	14,107	3,579	10,528	455	560.71	73.32	726.40
11	173,137	9,726	163,411	5,771	13,461	2,186	11,275	448	1186.21	344.92	1349.32
12	302,100	17,706	284,394	9,745	9,992	2,527	7,465	322	2923.42	600.67	3709.70
合計	895,962	65,060	830,902	2,454	140,479	28,069	112,410	384	537.79	131.79	639.17

表三、2022-2021年日本旅客月別動態比較表(居住地別)

月別	2022年		比較増減(%)	2021年	
	人数	毎日平均人数		人数	毎日平均人数
1	825	26	-22.90	1,070	34
2	1,116	39	3.72	1,076	38
3	1,281	41	31.93	971	31
4	1,758	58	52.74	1,151	38
5	1,670	53	122.07	752	24
6	1,475	49	660.31	194	6
7	3,210	103	762.90	372	12
8	5,635	181	477.36	976	31
9	5,623	187	562.31	849	28
10	9,625	310	804.61	1,064	34
11	21,204	706	2430.42	847	28
12	34,194	1,103	4558.58	734	23
合計	87,616	240	771.28	10,056	27

表四、2022-2021年国民訪日月別動態比較表

月別	2022年		比較増減(%)	2021年	
	人数	毎日平均人数		人数	毎日平均人数
1	1,378	44	31.61	1,047	33
2	1,491	53	49.04	878	31
3	3,703	119	204.27	1,217	39
4	3,710	123	293.43	943	31
5	2,831	91	216.31	895	28
6	4,092	136	205.83	1,338	44
7	6,339	204	271.35	1,707	55
8	8,523	274	533.68	1,345	43
9	9,052	301	787.45	1,020	34
10	36,880	1,189	2952.98	1,208	38
11	102,455	3,415	8679.35	1,167	38
12	173,765	5,605	13433.10	1,284	41
合計	354,219	970	2421.31	14,049	38



HOTEL 台北

台北圓山大飯店

「東側の秘密のトンネル」50年ぶりに公開

台北圓山大飯店は1970年に宮殿式をメインにした建築。建設時にホテルの東側と西側に2本の秘密トンネルが造られた。このトンネルは蒋介石總統のための緊急避難用通路で、このような設計を持つ国際ホテルは世界でも台北圓山大飯店だけだ。2019年に西側のトンネルが公開され、神秘的な歴史遺産を見ようと多くの見学者が訪れた。2021年には東側のトンネルが公開され、トンネルの出口は日本時代の神社の所在地だった秘密の花園と通じている。敷地内にたつホテル初代社長・孔令偉女史の旧宅では関連文物の展示を行っており、重要文化歴史遺産を完全な形で見学できる。

ガイドツアー：

毎日 9:30、10:30、11:00、14:30、16:00

ガイド付きプラン予約受付 02-2886-1818 内線 1818



台北圓山大飯店 (タイペイグランドホテル)

台北市中山區中山北路四段1號

Tel: 02-2886-8888

Fax: 02-2885-2885

www.grand-hotel.org



HOTEL 台北

日勝生加賀屋国際温泉飯店 芸術と温泉を兼ね備えた日本式温泉旅館

「日勝生加賀屋」は MRT 新北投駅や周辺の有名観光スポットに近接しており、北投を歩いて名所旧跡を訪ねたり、3月から6月に陽明山に登ってカラーやアジサイの花を觀賞したりなど、旅人が旅行の日程を立てるのに便利な立地の旅館だ。建物には日本の建築技法が採用されており、輪島漆・九谷焼・金箔などを含めた850にのぼる石川県工芸品が随所に配された館内は、さながら美術館が旅館になったかのような。本館で硫黄泉の白湯と北投石の岩盤浴が楽しめるほか、別館で療養効果が高い希少なラジウム泉の青湯も楽しめる。入浴後は台湾と日本の旬の食材を使った懐石料理をいただく。美しい器を愛でながら繊細な和のもてなしを堪能したい。



日勝生加賀屋国際温泉飯店

台北市北投區光明路236號

Tel: 02-2891-1238

www.kagaya.com.tw



HOTEL 高雄

承億酒店 TAI Urban Resort ワールドクラスの図書館と 融合した都市型リゾートホテル

「承億酒店 TAI Urban Resort」は文化クリエイティブホテルブランド・承億グループ8軒目のホテル。高雄港新湾地区の中心に位置しており、高雄市立図書館総館とともに、都会のジャングルに文化ラウンジを創り出している。全208室の景色が望める客室のほか、6軒のテーマレストラン、2軒のルーフトップバーがあり、なかでも新湾地区の広大な眺望を一望できる24階のインフィニティプールは、すでに高雄港の最も美しい夕陽観賞の展望スポットとなっている。



承億酒店 TAI Urban Resort

高雄市前鎮區林森四路189號

Tel: 07-333-3999

www.taiurbanresort.com.tw



HOTEL 台北

捷絲旅台北林森館 「跑吧條通 (バーめぐり)」 住宿プラン1人1200元から

「捷絲旅台北林森館」では周辺スポットと提携し、5月31日まで宿泊プラン「跑吧條通 回到1912大正町 (バーめぐり: 1912年大正町にトリムトリップ)」を提供している。提携する3軒のレトロなバーでホテルのプラン特別引換券を使用して飲食すると、1品購入で1品プレゼント、または1912年デザイン清酒1杯が提供される。宿泊はスーペリアルーム1泊2日にビュッフェスタイルの朝食つき。2人からの催行で、1人当たり1200元から。



捷絲旅台北林森館

台北市中山區林森北路117號

Tel: 02-7735-5000

www.justsleephotels.com/linsen



BUY 台北

紫玉金沙洋行

名茶を訪ねて一盡在紫玉金沙

「紫玉金沙洋行」は茶葉・茶器をはじめ、陶器・壺などの骨董、芸術品を販売する専門店。お茶を愛するオーナーは、様々な茶葉や陶磁器、芸術品の販売を通して数多くの同行の士と出会い、お茶好きの縁を結びたいと願っている。紫玉金沙洋行は茶陶文化を継承し、産業へ奉仕する精神と使命を守り続けている。お茶好きなら、ぜひ訪れたい店だ。



紫玉金沙洋行

台北市大安區麗水街5號

Tel: 02-2395-2088

[facebook.com/purplesands0935](https://www.facebook.com/purplesands0935)



FOOD 台北

六廚川客料理 創業30年の老舗の味 四川料理と客家料理

必食グルメは麻婆豆腐、剝椒牛肉 (牛肉の唐辛子炒め)、客家小炒 (客家風炒め) など。大安森林公園の向かいに位置しており、MRT 大安森林公園駅から徒歩3分とアクセス至便。「六廚」のシェフが匠の精神で、人生の情熱をかためて作り上げる、優雅で心のこもった四川料理と客家料理は、伝統と革新のバランスが取れた美味しさを実現している。真心のこもったもてなしとサービスを通して、ゲストは食材・味・シェフの技だけではなく、心の内側から生み出される信頼に足る郷土料理の食の旅路を堪能できる。



六廚川客料理

台北市大安區信義路三段7號2F

Tel: 02-2703-5468

liuchu1989.com.tw



高雄

台湾・潮風感じる、ゆるい街

都市なのに気取ってない。
居心地のいい、不思議な空気感。
高雄で新しい台湾の魅力を見つけてみませんか？

高雄ポップミュージックセンター

